

■ 第2回 多摩川流域セミナー

多摩川河川整備計画の基本的な考え方

主催：多摩川流域懇談会

● 日時

・・・ 1999(平成11)年6月26日（土） 13:30～17:00

● 内容

・・・ 開会 13:30

・・・ 話題提供(1) 13:40

「河川整備基本方針」「河川整備計画」のイメージについて
原 俊彦（京浜工事事務所 調査課長）

・・・ 話題提供(2) 13:50

「治水についての考え方」
原 俊彦（京浜工事事務所 調査課長）

・・・ 話題提供(3) 14:20

「環境についての考え方」
山田 政雄（京浜工事事務所 河川環境課長）

・・・ 話題提供(4) 14:50

「市民参加の計画づくり」
横山 十四男（多摩川市民フォーラム）

・・・ 休憩 15:00

・・・ ディスカッション

進行：井田 安弘（多摩川市民フォーラム） 15:15

・・・ 閉会 16:40

● 配付資料

・・・ 河川整備基本方針および河川整備計画のイメージについて

・・・ 多摩川の河川整備にあたっての考え方（治水）

・・・ 多摩川の河川整備にあたっての考え方（環境）

・・・ これからの多摩川をみんなで育むための新たな仕組み

・・・ 多摩川の新たな川づくりのための計画

・・・ 新聞記事（6月22日火曜日・読売新聞）

■ 第2回 多摩川流域セミナー 開催報告

多摩川河川整備計画の基本的な考え方

主催：多摩川流域懇談会

多摩川流域セミナーは、1998（平成10）年12月19日に設立された「多摩川流域懇談会」主催のセミナーであり、「多摩川流域懇談会」の趣意に沿って、市民（団体）・企業・学識経験者・流域自治体・河川管理者などが、多摩川の川づくりや流域環境について、継続的に情報や意見の交換を行い、お互いの協力関係を築き信頼関係を深めつつ、〈いい川〉や〈いいまち〉の実現に向けて、緩やかな合意形成を図ることを目的としています。

1999(平成11)年3月22日の第1回多摩川流域セミナー（パートナーシップではじめる"いい川"づくり）では、いい川を作っていくためにどの様に市民・学識者・河川管理者等で連携をはかり、情報の共有化を図っていけばいいのか等の議論がありました。

そして、今回の第2回多摩川流域セミナーでは、建設省京浜工事事務所より多摩川河川整備計画を作っていくにあたって、"治水"と"環境"について基本的な考え方を話題提供いたしました。

また、後半のディスカッションでは、基本となる方針から具体の整備に至るまでの幅広い事柄について

- ・ 歴史・文化を大事にして、整備計画にも反映してもらいたい。
- ・ 景観目標の概念も入れてほしい。
- ・ 船が通れるような工夫をしてほしい。
- ・ 次の世代にどの様に多摩川を残していくのか？
- ・ 健全な水環境を広い意味で検討を行ってほしい。
- ・ 時代に合ったいい川づくりをすすめてほしい。
- ・ 基本方針は、国が定める方針だが、市民は参加できないのか？
- ・ 基本方針はフィードバックすることが出来るのではないのか？



- ・ 今後、継続的に時代に合った方向で計画を見直し、事業に取り組んでもらいたい。
等の熱い意見交換が行われました。

今後、市民フォーラム（市民部会）では、市民案をつくっていくために"フィールドワーク"（市民の方々が、実際に川辺を歩いて考えていく活動）を行っていきます。

また、行政部会では沿川の自治体や住民の方々と一緒に川を見ながら要望等を聞いていく"ふれあい巡視"を予定しています。

■ 第2回 多摩川流域セミナー 開催報告

多摩川河川整備計画の基本的な考え方

主催：多摩川流域懇談会

多摩川流域セミナーは、1998(平成10)年12月19日に設立された「多摩川流域懇談会」主催のセミナーであり、「多摩川流域懇談会」の趣意に沿って、市民(団体)・企業・学識経験者・流域自治体・河川管理者などが、多摩川の川づくりや流域環境について、継続的に情報や意見の交換を行い、お互いの協力関係を築き信頼関係を深めつつ、〈いい川〉や〈いいまち〉の実現に向けて、緩やかな合意形成を図ることを目的としています。



1999(平成11)年3月22日の第1回多摩川流域セミナー(パートナーシップではじめる“いい川”づくり)では、いい川を作っていくためにどの様に市民・学識者・河川管理者等で連携をはかり、情報の共有化を図っていけばいいのか等の議論がありました。

そして、今回の第2回多摩川流域セミナーでは、建設省京浜工事事務所より多摩川河川整備計画を作っていくにあたって、“治水”と“環境”について基本的な考え方を話題提供いたしました。



また、後半のディスカッションでは、基本となる方針から具体の整備に至るまでの幅広い事柄について

- ・ 歴史・文化を大事にして、整備計画にも反映してもらいたい。
- ・ 景観目標の概念も入れてほしい。
- ・ 船が通れるような工夫をしてほしい。
- ・ 次の世代にどの様に多摩川を残していくのか？
- ・ 健全な水環境を広い意味で検討を行ってほしい。
- ・ 時代に合ったいい川づくりをすすめてほしい。
- ・ 基本方針は、国が定める方針だが、市民は参加できないのか？
- ・ 基本方針はフィードバックすることが出来るのではないか？
- ・ 今後、継続的に時代に合った方向で計画を見直し、事業に取り組んでもらいたい。

等の熱い意見交換が行われました。

今後、市民フォーラム(市民部会)では、市民案をつくっていくために“フィールドワーク”(市民の方々が、実際に川辺を歩いて考えていく活動)を行っていきます。

また、行政部会では沿川の自治体や住民の方々と一緒に川を見ながら要望等を聞いていく“ふれあい巡視”を予定しています。